
年 報

令和4年度 (2022)

I 博物館の運営

1 沿革—総合博物館から歴史博物館へ—

年	事項
昭和 46 年(1971)	旧高田市が市制 60 周年記念事業として建設
昭和 47 年(1972)	4 月 1 日、上越市立総合博物館条例施行 4 月 5 日、開館。スキー、考古、歴史、民俗、自然科学 5 部門の資料 収集・展示 上越市立総合博物館協議会条例制定 施設概要 延べ 1279 m ² 、総工費約 1 億 3,300 万円
昭和 62 年(1987)	4 月 1 日、「上越市立総合博物館協議会条例」と「上越市立水族博物 館協議会条例」が廃止、「上越市博物館協議会条例」を制定し、両館 を統合した博物館協議会を設置
平成 4 年 (1992)	日本スキー発祥記念館条例施行 日本スキー発祥記念館開館に伴い、スキー資料を移管
平成 12 年(2000)	7 月、増改築工事開始 新館増築およびラウンジ等改修
平成 13 年(2001)	9 月 29 日、リニューアルオープン。考古、歴史、民俗、美術 4 部門の 資料収集・展示 *新館に小林古径記念美術館を併設
平成 17 年(2005)	1 月 1 日、14 市町村合併（上越市、安塚町、浦川原村、大島村、牧村、 柿崎町、大潟町、頸城村、吉川町、中郷村、板倉町、清里村、三和村、 名立町）に伴い、各町村の郷土資料館および所蔵資料を移管 平成 22 年度から牧区、頸城区を除く各区民俗資料を黒岩拠点収蔵施 設（柿崎区）、岡沢拠点収蔵施設（中郷区）への資料移動事業開始（平 成 30 年度終了）
平成 25 年(2013)	都市再生整備計画に記載、空調設備工事
平成 26 年(2014)	改修工事及び常設展示に関する検討
平成 27 年(2015)	プロポーザルによる基本設計業者選定。基本設計は(株)乃村工藝社
平成 28 年(2016)	実施設計、工事契約、改修工事（久保田・大栄 JV） 4 月 1 日、日本スキー発祥記念館が上越市文化振興課から移管 11 月から増改築工事のため休館
平成 29 年(2017)	改修工事
平成 30 年(2018)	3 月 31 日、竣工 4 月 1 日、総合博物館美術部門資料を小林古径記念美術館に移管 7 月 21 日、上越市立歴史博物館開館 8 月、上越市立水族博物館所蔵重要有形民俗文化財「どぶね」移管 開館記念展として「榊原康政の遺宝」、「川上善兵衛展」を開催
令和 2 年 (2020)	高田城三重櫓が上越市文化振興課から移管
令和 3 年 (2021)	黒岩拠点収蔵施設内の民俗資料を岡沢拠点収蔵施設に移動

2 施設概要



- (1) 名 称 上越市立歴史博物館
 (2) 所 在 地 新潟県上越市本城町7-7（高田城址公園内）
 (3) 建築構造 鉄筋コンクリート構造、本館地上2階 新館地上3階
 (4) 面 積 敷地面積 8313.98 m²
 延床面積 2570.53 m²

【主要施設面積】

区 画	用 途	床面積 (m ²)
展示室	常設展示室	564.64
	企画展示室1	111.31
	企画展示室2	96.01
	講堂・企画展示室3	106.44
収蔵庫	収蔵庫1・2	296.81
研 究	資料整理室・書庫	111.90
	研究室	15.21
	閲覧室	25.34
共 用	カフェ・ショップ	116.76
	ラウンジ	162.22
	エントランスロビー	61.86
	授乳室	2.63
	ロッカー室	2.70
	屋上展望デッキ	170.00

（5）設計及び開館年月日

- ・総合博物館建築・開館 昭和47年（1972）4月5日
設計 （株）石本建築事務所
- ・新館建築・開館 平成13年（2001）9月29日
設計 （株）ブラハマ・アソシエイツ都市建築研究所
- ・歴史博物館改修・開館 平成30年（2018）7月20日
設計 （株）乃村工藝社

（6）総合博物館改修工事事業費内訳（平成27年度から平成29年度）

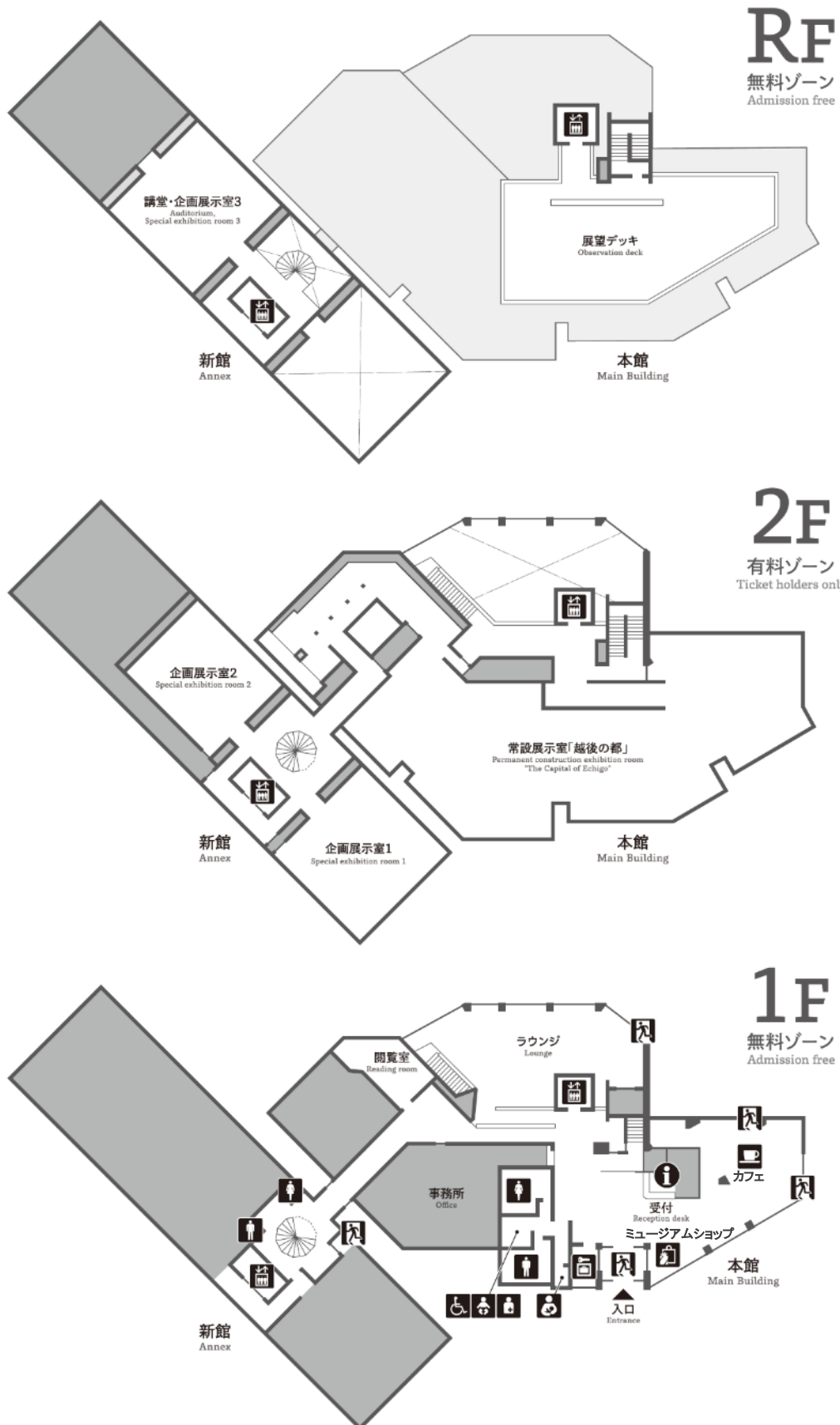
【歳入】 (千円)

区分	No.	項目	事業費
歳入	1	国庫支出金（社会資本整備総合交付金）	231,097
	2	市債	255,500
	3	一般財源	44,892
計			531,489

【歳出】 (千円)

区分	No.	項目	事業費
歳出	1	基本設計	10,800
	2	実施設計	30,996
	3	地質調査	1,926
	4	構造計算適合性判定	180
	5	施工管理	12,009
	6	展示物下地等造作工事	65,010
	7	展示物制作・空間演出工事	149,635
	8	大規模改修工事	207,439
	9	大規模改修電気工事	27,043
	10	大規模改修機械設備工事	26,451
計			531,489

(7) 館内図



3 歴史博物館の役割

(1) 上越市立歴史博物館条例（抄出）

（設置）

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号)第18条の規定に基づき、市民の教育、学術及び文化の向上を図るため、歴史博物館を設置する。

（事業）

第3条 上越市立歴史博物館(以下「歴史博物館」という。)は、第1条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 郷土を主とした歴史、民俗、考古、スキー等に関する資料(以下「資料」という。)の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 資料の調査研究に関すること。
- (3) 資料の利用についての必要な説明、助言、指導等に関すること。
- (4) 資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の主催及びその開催の援助に関すること。
- (5) 資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (6) その他目的達成に必要な事業

(2) 理念と機能

① 3つの理念

ア. 市民が地域の歴史を学ぶ場

調査研究機能を強化し、市民の歴史への関心にこたえる場となる。

イ. 市民と地域を結ぶ場

博物館から城下町への回遊、市内各博物館等施設や史跡等への誘いの出発地となる。

ウ. 歴史を生かした町づくりを担う次世代育成の場

常設展示等により、地域の子供たちが郷土への理解と愛着を育む場となる。

② 2つの機能

ア. 教育普及機能

常設展示、企画展示等の開催、歴史講座、出前講座・史料購読講座、講演会等の開催、小中学校の見学対応、市民のレファレンスへの対応等によって地域への還元を図る。

イ. 調査研究機能

調査研究、収集、保存管理、研究論文の執筆、及び研究紀要、資料集、資料目録等の刊行等の事業によって地域史研究の蓄積を図る。

4 収蔵資料の概要

（1）歴史資料 約 1,000 点

台帳無し（今後寄贈台帳との突合及び資料台帳の整備が必要）

※近世の美術資料及び楊洲周延の肉筆・錦絵資料等を含む

（2）民俗資料 約 30,000 点

- ・平成 18 年度から令和 2 年度まで、民俗資料整理事業として合併前上越市及び合併前各町村が収集した民俗資料の再台帳化・データベース化作業、及び収蔵施設の統合を実施した。
- ・令和 2 年度には黒岩拠点収蔵施設に保管していた民俗資料を岡沢拠点収蔵施設に移動し、施設の集約と資料の一元管理を進めた。
- ・令和 3 年度からは岡沢拠点収蔵施設の一般公開を行い、国重要有形民俗文化財ドブネほか約 3 万点の民俗資料を鑑賞する機会を提供した。

（3）寄託資料

- | | |
|---|---------|
| ①榊原家史料（新潟県指定文化財、榊原家所蔵・公益財団法人旧高田藩和親会管理）
大名榊原家の史料群で『高田藩 榊原家史料目録・研究』（上越市立総合博物館、2009 年）に収録（一部、榊神社雙輪館収蔵史料あり）。 | 1,722 点 |
| ②市松人形（榊原家所蔵） | 1 点 |
| ③百人一首（榊原家所蔵） | |
| ④府中八幡宮資料（鰐口〈新潟県指定文化財〉ほか | 101 点 |
| ⑤顕法寺資料（上越市指定文化財） | 3 件 |
| ⑥伊達政宗書状（上越市指定文化財「本誓寺文書」のうち 2 通 1 巻） | 1 点 |
| ⑦太刀 銘 助宗（新潟県指定文化財、密蔵院所蔵） | 1 点 |
| ⑧吉川区神田町町内会資料 | 3 点 |
| ⑨菅原神社文書（上越市指定文化財） | 12 点 |
| ⑩御所参内・聚楽第行幸図屏風 | 6 曲 1 双 |
| ⑪火縄銃（越後高田住野々山源助義春） | 1 点 |
| ⑫銅造薬師如来懸仏（上越市指定文化財） | 1 点 |
| ⑬室文庫（室孝次郎関係資料） | 19 点 |
| ⑭青銅菊花文和鏡（上越市指定文化財、西松野木町内会所蔵） | 1 点 |
| ⑮妙高山参りに用いた昇り龍の旗 | 2 点 |
| ⑯高田城本城御門模型、高田城蹴出門模型、竹内家元服鎧（公益財団法人旧高田藩和親会所蔵、高田城三重櫓へ寄託） | 3 点 |
| ⑰高田城三重櫓鯨（高田城三重櫓へ寄託） | 1 点 |
| ⑱源氏車紋入鏡台（高田城三重櫓へ寄託） | 1 点 |

5 利用者数

令和4年度 上半期（4月～9月）入館者数 (単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月※	上半期計
開館日数	28日	27日	26日	29日	29日	26日	165日
総入館者数	17,176	6,747	4,072	6,362	6,741	4,281	45,379
展示観覧者数	1,921	1,973	925	1,441	1,683	1,028	8,971
有料観覧者	1,693	1,520	703	1,257	1,465	861	7,499
無料観覧者	228	453	222	184	218	167	1,472
無料スペース利用者	15,255	4,774	3,147	4,921	5,058	3,253	36,408

令和4年度 下半期（10月～3月）入館者数 (単位：人)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月※	下半期計	年間合計
開館日数	26日	24日	24日	23日	23日	26日	146日	311日
総入館者数	4,531	3,753	1,540	2,418	2,965	6,325	21,532	66,911
展示観覧者数	1,070	894	230	962	1,417	1,089	5,662	14,633
有料観覧者	927	573	175	340	457	915	3,387	10,886
無料観覧者	143	321	55	622	960	174	2,275	3,747
無料スペース利用者	3,461	2,859	1,310	1,456	1,548	5,236	15,870	52,278

※観桜会延長に伴い令和4年4月11日を臨時開館、常設展プロジェクター入替え作業のため令和5年1月6日を臨時休館。

※観桜会の前倒しに合わせて、令和5年度逸品展示「どうする康政 榑原資料展」を令和5年3月25日から開催。

6 上越市博物館協議会

令和4年度の委員（任期2年）

①任 期 令和3年7月1日～令和5年6月30日

②委 員

分類	役職名	氏名	選出区分等
歴史博物館部会	委員長・部会長	川村 知行	学識経験者
	副部会長	清沢 聰	家庭教育の向上に資する活動を行う者
	委 員	斎藤 良人	社会教育の関係者
	委 員	浅倉 有子	学識経験者
	委 員	増田小夜子	市民公募に応じた者
水族博物館部会	副委員長・部会長	関谷 伸一	学識経験者
	副部会長	渡邊 憲一	学識経験者
	委 員	大山 賢一	学校教育の関係者
	委 員	山下 優子	家庭教育の向上に資する活動を行う者
	委 員	岩井 文弘	市民公募に応じた者

③活動記録

○令和4年度 第1回（令和4年9月9日）

※新型コロナウイルス感染拡大により、新潟県内に「BA.5 対策強化宣言」が発令されている状況を受け、書面会議として開催

- ・開館4年目及び令和3年度事業の成果について
- ・令和5年度の事業計画（案）について

○令和4年度 第2回（令和5年3月28日）

- ・令和5年度事業計画について